

ハイ・クリーナーの必要性

湿式ブースを採用しているブースはオーバースプレーミスト処理と不快臭に悩まされています。多くのメーカーから色々なスプレーミスト処理剤が販売されていますが、ほとんどが万能タイプと称するもので薬剤設計と使用方法に無理があります。重要なことは、スプレーミスト処理剤・設備装置、塗料の特徴を掴み、使い分けることで下記のような対応が可能になります。

- ・ **あらゆる塗料タイプの不粘着化効果が可能になる。**
水系塗料(エマルジョン系 親水性系) 溶剤塗料、UV塗料に効果を発揮
塗料が混合状態でも処理可能
- ・ **塗料カス処理方法(分散、浮上、沈降)の選択範囲が広がる。**
手作業回収、自動回収での回収が可能
- ・ **ブース循環水の不快臭発生の抑制と透明性を維持できる。**
不粘着性塗料カスに変え、塗料溜りをなくし、嫌気性バクテリアの発生を抑制し、悪臭対策に効果
- ・ **ブース循環水の電気伝導率向上を抑制できる。**
電気伝導率上昇物質の生成と蓄積を最小限にとどめ、金属腐食進行を遅延
- ・ **ブース循環水廃棄時の負荷軽減が可能になる。**
塗料カス回収を容易にして、SS濃度を下げ、廃水処理負荷を軽減
- ・ **管理費、薬剤費、処分費、装置修繕費等のトータルコストが安くなる。**
清掃作業の軽減、廃棄処分頻度の低減、ブース修繕費等の低減によるコストメリット

塗料不粘着化の原理

● = スプレーミスト ● = ポリマー ● = クレー ○ = マイクロエア

